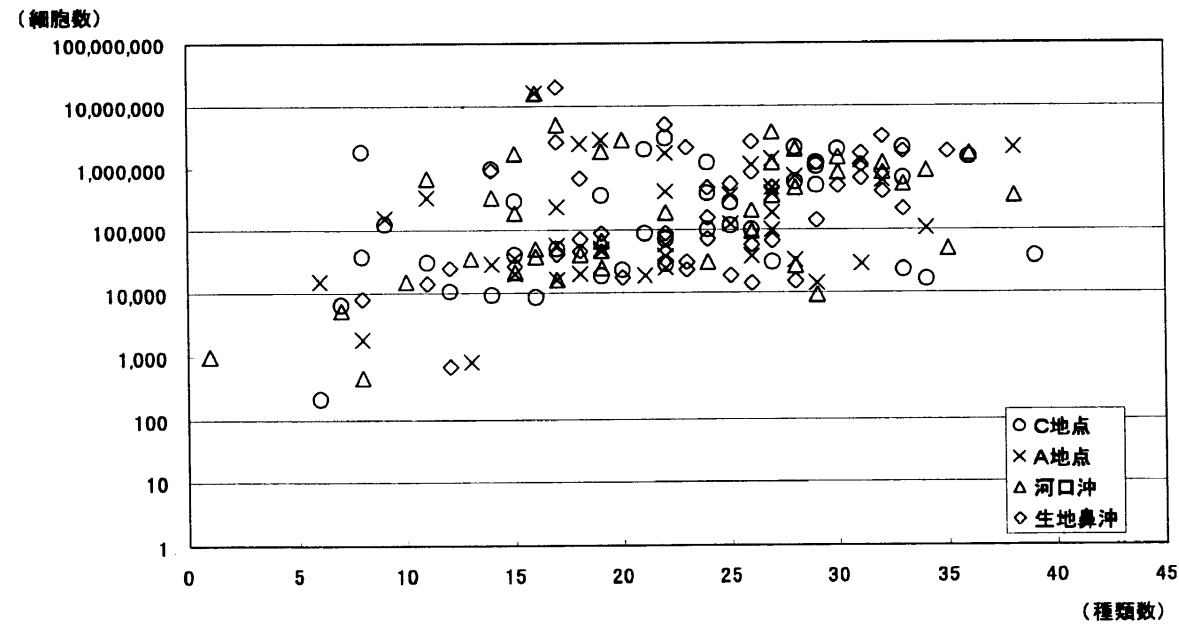


## 海域水生生物調査結果について

# 植物プランクトン

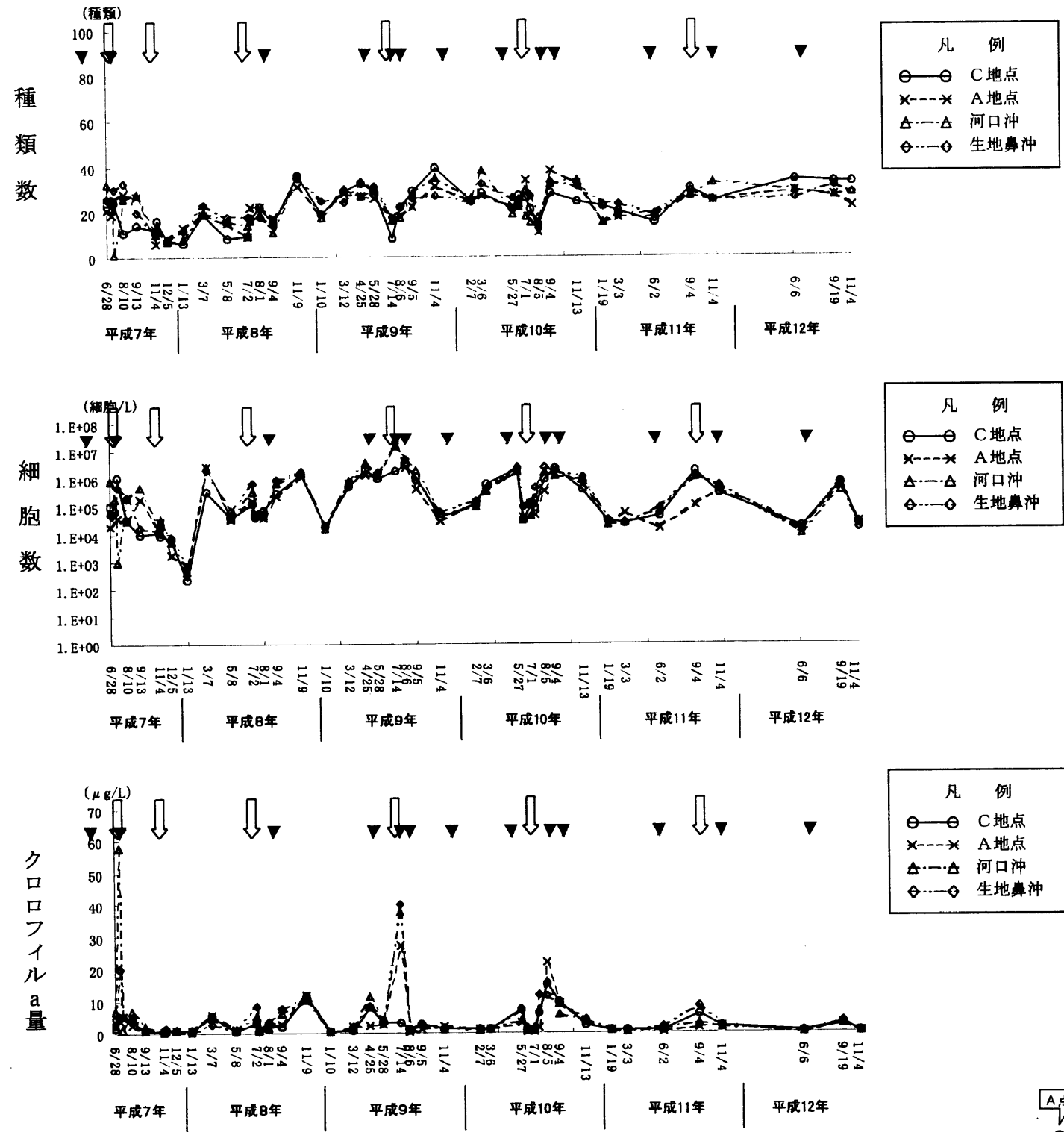
1. 種類数・細胞数共に、地点格差は見られない。
2. 出水及び排砂との関連性は認められない。

植物プランクトン種類数と細胞数の関係

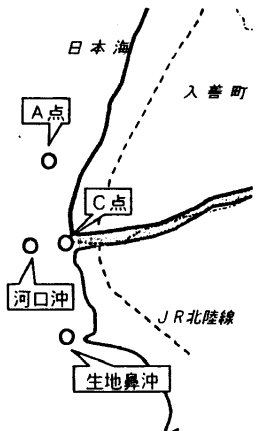


植物プランクトン調査点別時系列変化図

調査地点：黒部地点



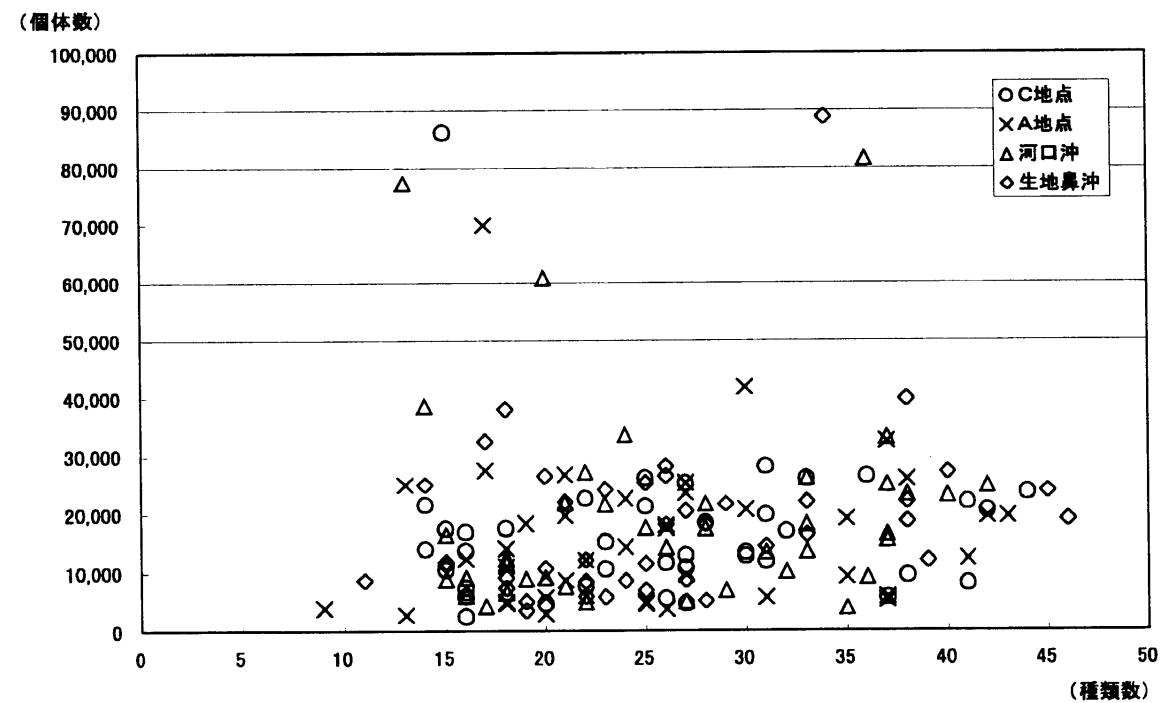
- 注：1. 図中の↓は排砂時期を示す。  
2. 図中の▼、および↓は愛本観測所で每秒 400m³以上の流量が観測された時期を示す。



## 動物プランクトン

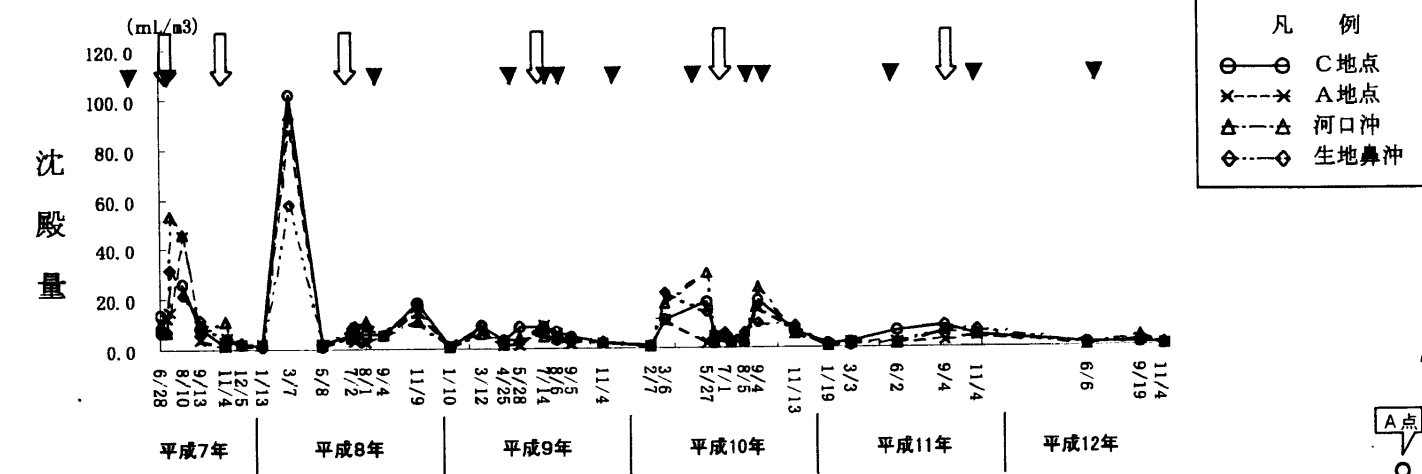
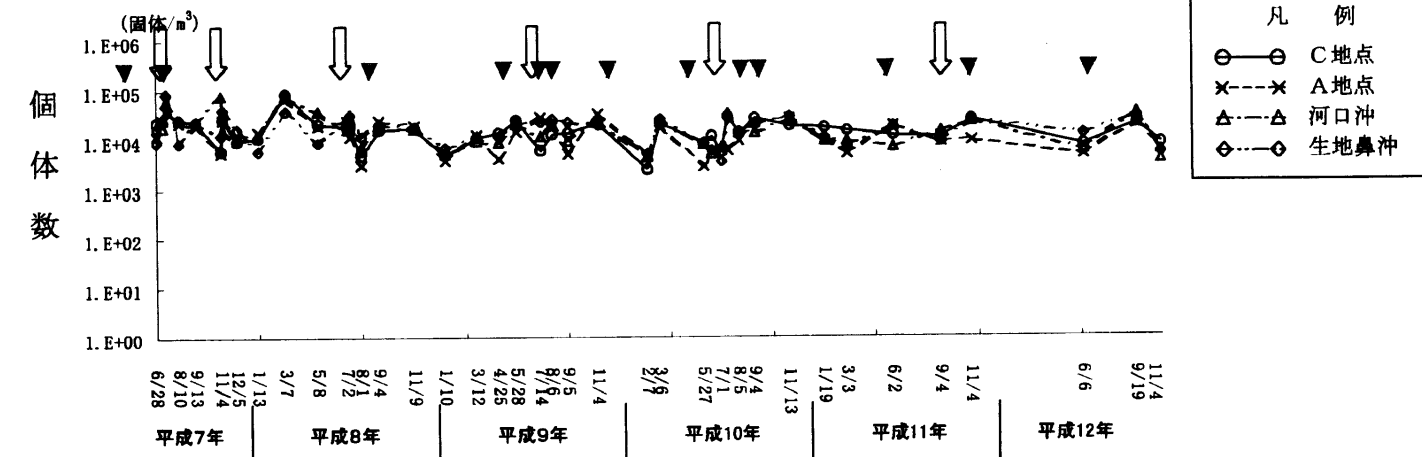
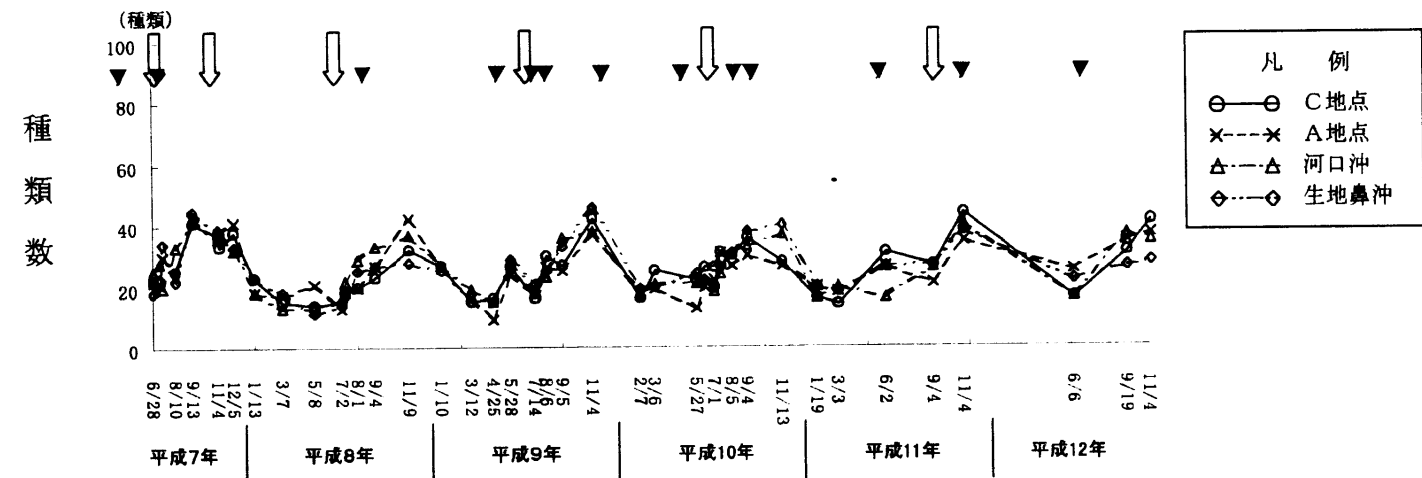
1. 種類数・細胞数共に、地点格差は見られない。
2. 出水及び排砂との関連性は認められない。

動物プランクトン種類数と個体数の関係

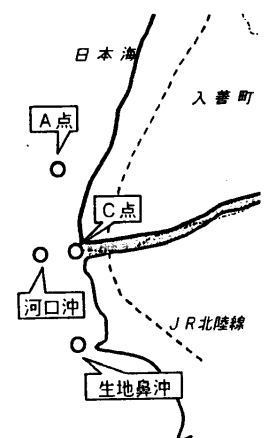


動物プランクトン調査点別時系列変化図

調査地点：黒部地点



- 注：1. 図中の↓は排砂時期を示す。  
2. 図中の▼、および⇩は愛本観測所で毎秒 400m³以上の流量が観測された時期を示す。



## マクロベントス

### 1. 種類数・個体数・種類構成が2極化している。

#### (1) 黒部川河口（C点、河口沖）

- ・種類数：比較的少ない。
- ・個体数：年間を通じ出水及び排砂に伴う変動が大きい。
- ・種類構成：同上

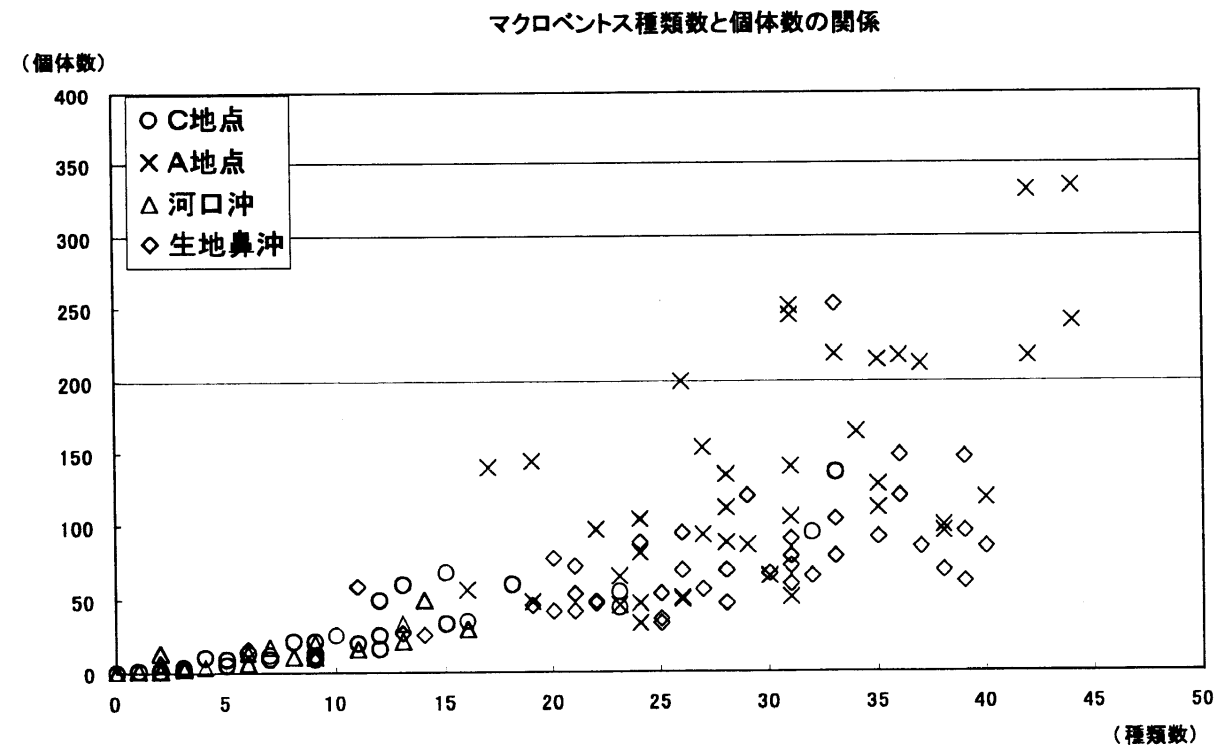
#### (2) 黒部川左右岸沖（A点、生地鼻沖）

- ・種類数：比較的多い。
- ・個体数：年間を通じ変動が少なく種類数も多い。
- ・種類構成：同上

### 2. 種類数－個体数相関（左下グラフ）

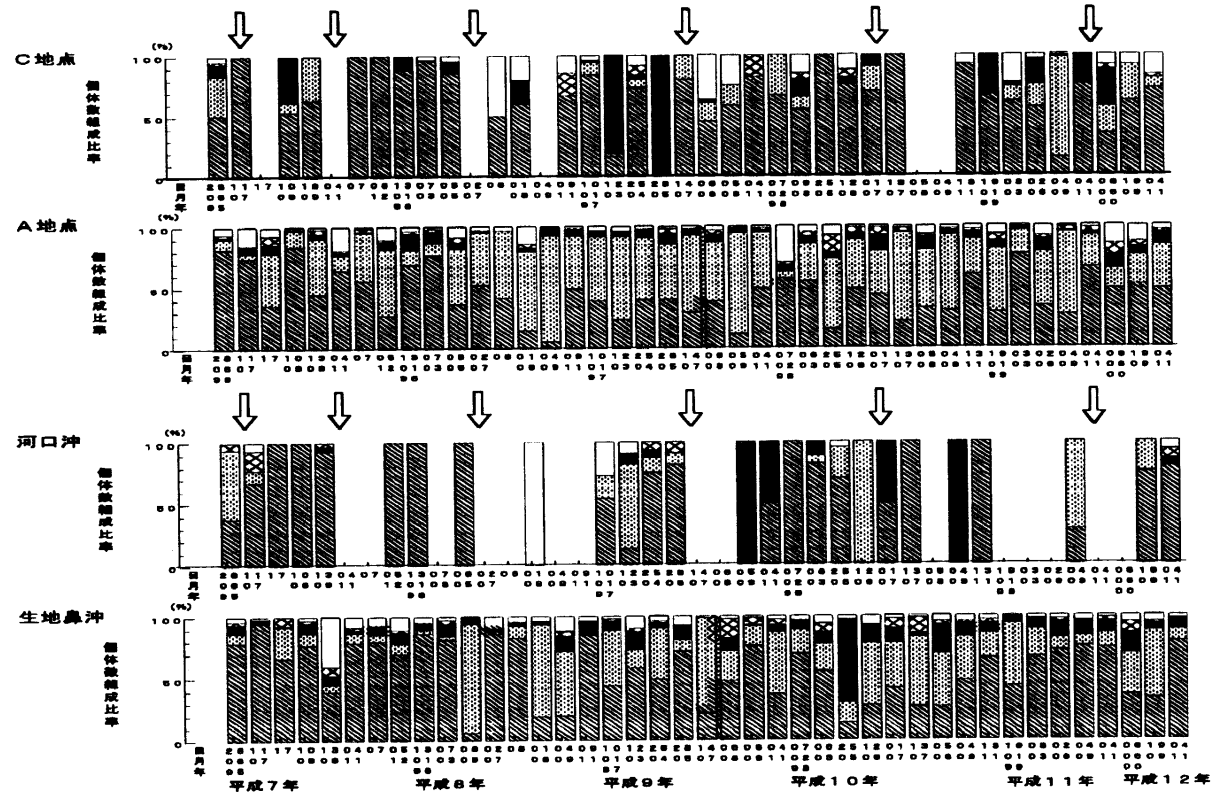
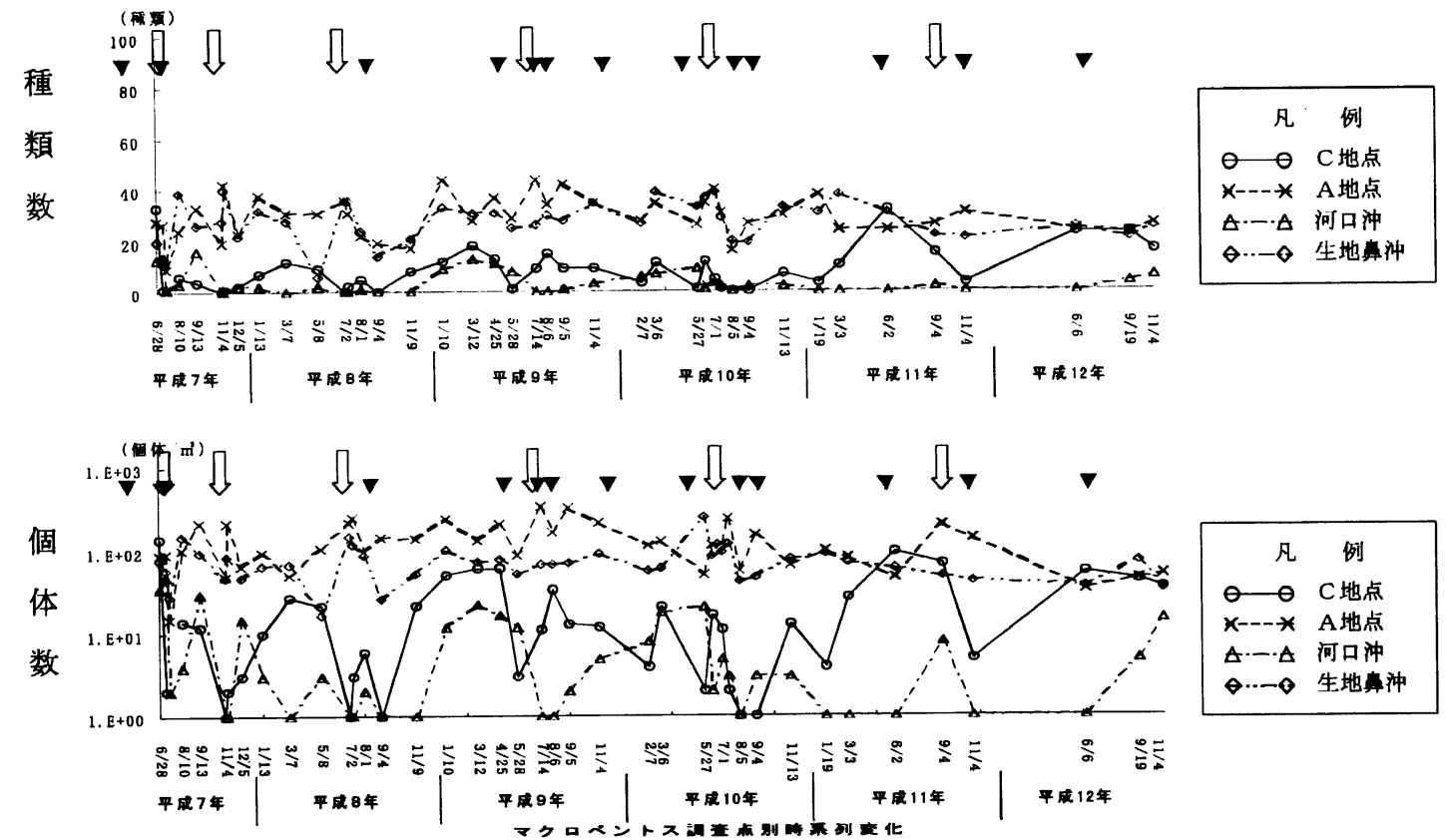
種類数、個体数の傾向として以下の関係が見られる。

河口沖＜C点＜生地鼻沖＜A点



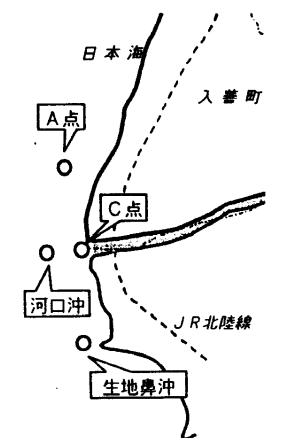
## マクロベントス調査点別時系列変化図

調査地点：黒部地点



注：1. 図中の↓は排砂時期を示す。

2. 図中の▼、および↓は愛本観測所で毎秒 400m³以上の流量が観測された時期を示す。



# 底質

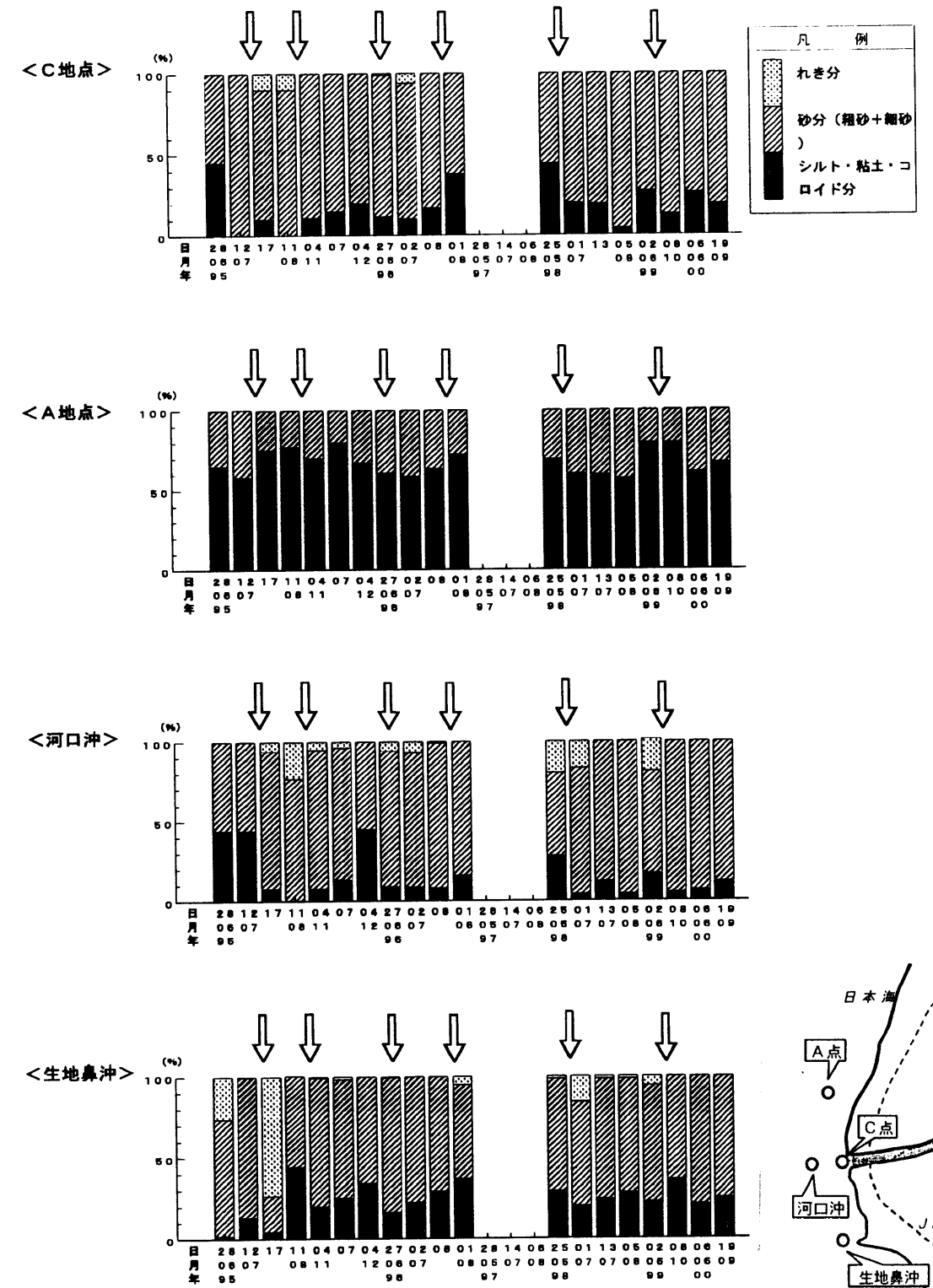
## 1. 粒度組成

C地点、河口沖、生地鼻沖は、砂分が主体であり、A地点はシルト、粘土分が主体である。  
いずれの地点も経年的な大きな変動傾向は見られない。

## 2. COD

いずれの地点も水産用水基準を下回っており、経年的な変動傾向は見られない。  
4地点の中ではA地点が比較的高い。これは粒度組成を反映しているものと考えられる。

粒度組成調査点別時系列変化



注：1. 図中の↓は排砂時期を示す。  
2. 図中の▼、および↓は愛本観測所で毎秒 400m<sup>3</sup>以上の流量が観測された時期を示す。

底質調査点別時系列変化図

